

## 演者の皆様へ

### — 投稿原稿提出についてのお願い —

公益社団法人 北海道臨床工学技士会  
広報委員会

今回、発表される一般演題を会誌に掲載いたします。掲載を希望される方で、学会当日に投稿原稿を提出されない方は、「投稿・執筆規定」（平成30年10月4日改訂版）に従い、下記の期日までに、チェックリストを添えて投稿原稿を提出してください。提出は郵送でもメールでも受け付けますが、なるべくはメールでお願い致します。

編集用に用意しているパソコン（Windows）には、MicrosoftのWord2010とPower Point2010に対応できるようにしています。原稿には**Word**、図表には**Power Point**を用い、上記環境にて正常に動作するデータでお送りください。また、**図表は白黒**に修正してからお送りください。

なお、**公益社団法人北海道臨床工学技士会会誌は現在ISSN登録**となっております。今回発表される内容を**他学会にて全く同じ内容で論文投稿の予定がある場合は二重投稿**とみなされますので、注意をお願い致します。

### 記

締め切り日：2018年12月15日（土）必着

原稿送付先：〒070-8610

北海道旭川市金星町1丁目1-65

市立旭川病院 臨床工学室

澤崎 史明 <Sawasaki Fumiaki>

電話 0166-24-3181

Mail [f\\_sawasaki@city.asahikawa.hokkaido.jp](mailto:f_sawasaki@city.asahikawa.hokkaido.jp)

以上

# 「公益社団法人 北海道臨床工学技士会」 投稿・執筆規程

1. 北海道臨床工学技士会会誌では、研究論文、研究速報、症例報告など他誌に未発表の原稿を掲載します。
2. 投稿は、北海道臨床工学技士会会員によるもの、または北海道臨床工学会で発表されたものとします。
3. 北海道臨床工学技士会会誌へ掲載されたすべての論文の著作権は、本会に帰属します。
4. 原稿提出の基本
  - 1) 原稿の大きさはA4判（縦使用）横組み、パソコンにて1行40字×40行（1600字）にしてください。
    - ・日本語の通常字体にはMS 明朝、太字にはMS ゴシックを用いる。また、英文の通常字体にはTimes New Roman、太字にはArialを用いる。ほか、題名は14Pとし、本文は10.5Pとする。単位は、国際単位系(SI)を使用する。読点はカンマ「,」、句点はピリオド「.」を使用してください。
  - 2) 図表はA4用紙に図表だけをプリントアウトした物を提出してください。
  - 3) 原稿枚数は規定しませんが、図表の合計は10点以内を目安にしてください。
  - 4) 投稿原稿を指定のメールアドレスに原稿提出時のチェックリストを添えて期日までに提出してください。
5. 投稿原稿の採否は、担当委員会で討議し決定します。また、投稿執筆規程に従い原稿の加筆・訂正・削除などをお願いする場合があります。
6. 原稿執筆の順序
  - 1) 研究論文、研究速報および症例報告の記載は、以下の様にしてください。
    1. 緒言（はじめに、まえがき）
    2. 研究方法（対象、症例、方法）
    3. 研究結果（結果）
    4. 考察
    5. 結論（結語、まとめ、おわりに）利益相反  
参考文献  
Key Word(索引用語)
  - 2) 見だし番号は以下の様にしてください。
    1. \_\_\_\_\_見だし
      - 1). \_\_\_\_\_小見だし
        - (1)
7. 利益相反（COI）の公開  
投稿論文内容に関して、筆頭著者または連名著者が自身の所属する機関・団体以外の企業あるいは営利団体と、利益相反関係がある場合に明示してください。  
\*利益相反がある場合、専用の届出用紙に記入し、投稿原稿提出先へ郵送にて提出して下さい。  
\*詳細は公益社団法人 日本臨床工学技士会(倫理委員会)発行の「臨床研究の利益相反(COI)に関する指針」に従ずる。

## 8. 参考文献の記載方法

本文中の参考文献番号は引用順とし、文中に右肩付文字にて記載し（引用順 1）引用箇所を表示してください。

### 1) 参考文献の書き方

#### (1) 雑誌の場合

・著者名，共著者名，共著者名，ほか：論文題名，雑誌名巻（号）；初頁-終頁，発行年.

#### (2) 単行本の場合

・著者名：書名. 版, 出版地. 出版社. 発行年. 初頁-終頁

#### (3) ホームページの場合

・<http://www.jacet.or.jp/contents/gakkai/jyoho.html>（引用年月日を記載:西暦年月日）

\* 共著の場合は、その氏名を3人とし、3名以外の扱いは「3人目の氏名，ほか: 」と記載してください。

## 9. Key Word(索引用語)

キーワードは、5項目以内の名詞形とし内容を暗示する単語とする。

例) Key Word: 血液透析(HD) 急性腎不全 ○○○

## 10. 図表の規程(写真は図として扱う)

1) 図表に使用する文字は、MS 明朝を使用して下さい。

2) 提出する図表は、白黒で光沢鮮明な手札（Lサイズ写真）以上の写真、または同等以上の解像度を有したものにしてください。

3) 図題は図の下に、表題は表の上に記載してください。

附則 本規程は、平成30年10月4日より実施する。

## 北海道臨床工学技士会会誌：自己申告によるCOI 報告書

著者名： \_\_\_\_\_

論文題名： \_\_\_\_\_

本会誌論文に関連する開示すべきCOI関係にある企業などを項目ごとに記載する

項目	該当の状況	有であれば、著書名：企業名などの記載 例) 北海太郎：大雪製薬
①報酬額 1つの企業・団体からの年間100万円以上	有 ・ 無	
②株式の利益 1つの企業から年間100万円以上、あるいは 該当株式の5%以上保有	有 ・ 無	
③特許使用料 1つにつき年間100万円以上	有 ・ 無	
④講演料 1つの企業・団体からの年間合計50万円以上	有 ・ 無	
⑤原稿料(執筆、編集、監修を含む) 1つの企業・団体からの年間合計50万円以上	有 ・ 無	
⑥研究費(治験など)・助成金などの総額 1つの企業・団体からの研究経費を共有する 所属部局(講座・分野あるいは研究室など) に支払われた年間総額が200万円以上	有 ・ 無	
⑦奨学(奨励)寄付金など総額 1つの企業・団体からの研究経費を共有する 所属部局(講座・分野あるいは研究室など) に支払われた年間総額が200万円以上	有 ・ 無	
⑧企業などが提供する寄附講座 (企業などからの寄附講座に所属している 場合に記載)	有 ・ 無	
⑨旅費、贈答品などの受領 1つの企業・団体からの年間5万円以上	有 ・ 無	

(著者全員について、前年1年間(1月1日～12月31日)の利益相反状態を記載)

申請日                      年                      月                      日

申告者(署名)

Ⓔ

\*本COI申告書は申告日より3年間保管されます